

乗務員の状態をリアルタイムに把握。  
より安全な「動態管理」を実現します。

活動量計(脈拍計測機能付)連動  
動態管理クラウドシステム



後方の安全確認を、光と音でお知らせ!

トラック・バス 業務用 バックセンサー TP-BS01

後退時の死角に、もう一つの安全対策!



※本製品は後退事故防止を目的として開発された製品ですが、全ての障害物に対する確実な反応をすることを保証したものではありません。株式会社トライプロ及びその販売業者は、本製品の利用の如何にかかわらず、交通事故等の損害賠償等に関し一切の責任を負いません。後退の際は装置だけに頼らず、必ず目視で確認した上で後退するようにしてください。

- **FHM Safety for Windows 動作環境**  
オペレーティングシステム: Windows® 7/8/10 (32-bit/64-bit)  
CPU: Core i3シリーズ以上 メモリ: 2GB以上  
インストール要件: .Net Framework 4.0
- **FHM Safety for Windowsのご注意**  
FHM Safety for Windowsは、フリッカー検査法による疲労計測を行うシステムです。本システムの計測結果に関わらず、事故や損害事件の法的事実認定に直接利用することはできません。関係する販売及び製造者は、一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。

● 詳しい資料請求、お問い合わせ、お見積りは、株式会社トライプロまで  
TEL(平日9:00~18:00) 03-6804-0908 E-mail info@trypro.co.jp Webサイト http://www.trypro.co.jp

**株式会社 トライプロ**  
TRYPRO  
〒155-0032 東京都世田谷区代沢2-42-11 高麗屋ビル301  
Tel.03-6804-0908 Fax.050-3488-7454

FHM Safety for Windows 製造元 **FHM** フリッカーヘルスマネジメント株式会社

※製品、およびシステムの仕様、価格は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。  
※本パンフレットに引用された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。※本パンフレットは2018年11月作成です。

睡眠不足に起因する事故の防止対策をサポートします!



# 簡単な操作で点呼時の乗務員・ドライバーの「疲労度」「睡眠状況」を測定・評価!

国土交通省 事故防止支援事業 補助金対象製品※ (H30)

## 疲労度測定・評価システム

# FHM Safety for Windows

〈 運用のご案内 〉

※ 休憩時間における運転者の睡眠状態等を測定する機器として。

### ヒューマンエラー対策に

疲労度を測定・管理することで、事故・エラーの予防につながります。

### パソコンで簡単操作

点滅する方向をキー入力するだけの簡単測定!約50秒で測定完了するので、出退勤時の日課にできます。

### 疲労度をデータ管理

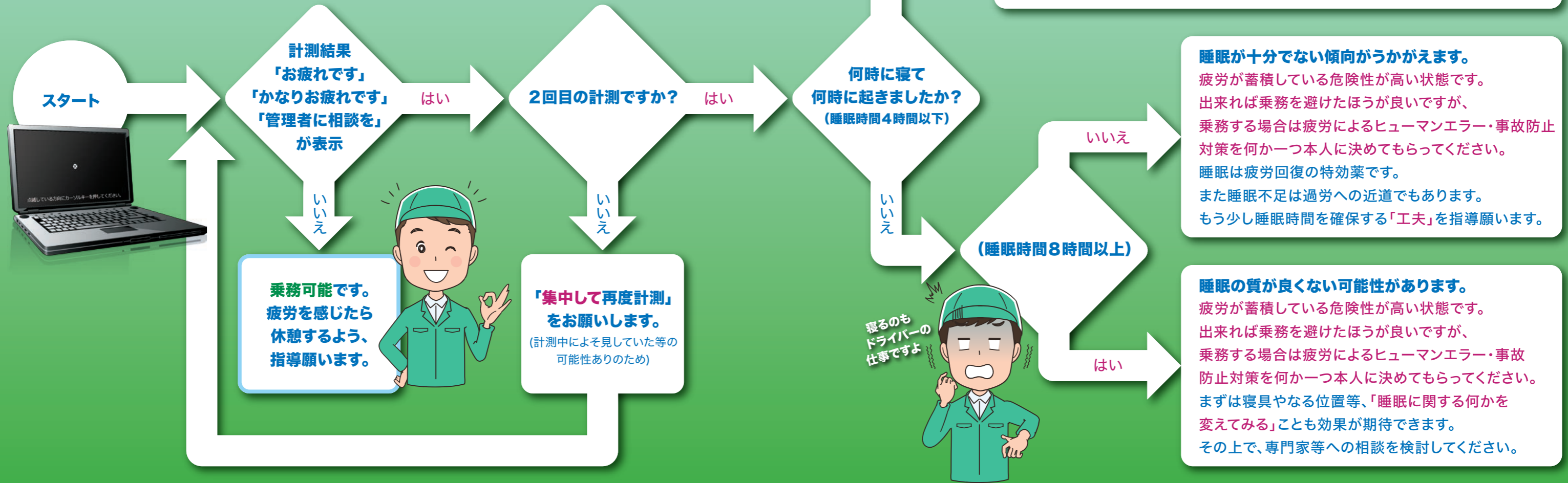
管理者は日々の疲労データ管理が可能。従業員の健康状態を一目で把握できます。

# お疲れではありませんか？点呼時に“フリッカー”を応用した「FHM Safety for Windows」で疲労をはかりましょう！

「疲労」＝「認知の遅れ」を計測し、事業用自動車の重大な事故の予防を目的としたシステムです。

疲労度測定・評価システム「FHM Safety for Windows」は、フリッカー値測定法を用いて、「疲れとともにフリッカー（チラつき）を認知する能力が落ちていく＝点滅している事を認知できた時の点滅周波数」を「フリッカー値」として疲労度の指標としており、その疲れを「脳皮質の機能低下を主症状とするもの」と定義しています。これにより運転（≒マシンオペレーション）における「認知機能の低下」を数値化して、ヒューマンエラー対策をサポートします。

## 管理者向け FHM 始業点呼 運用フロー【睡眠確認編】



## 管理者の方へ

自動車運転のような「精密作業」の労働負荷の限界は、フリッカー値の変化で-5%とされています。計測結果が「お疲れです」「かなりお疲れです」「管理者に相談を」の場合は、変化が-5%を超えているので、**要注意の状態**です。

いつも以上に注意し、**対面で疲労の度合いや覚醒水準の観察**を行い、その上で乗務させるか否かの判断をお願いします。  
 (判断は基本的に「熱がある」等の体調不良を訴える乗務員・ドライバーへの対応と同様に考えていただいで結構です。そのためにも「体調不良の乗務員・ドライバーへの対応をどうするか？」を事前に明確にし、点呼執行者間での共有をお願いします。)

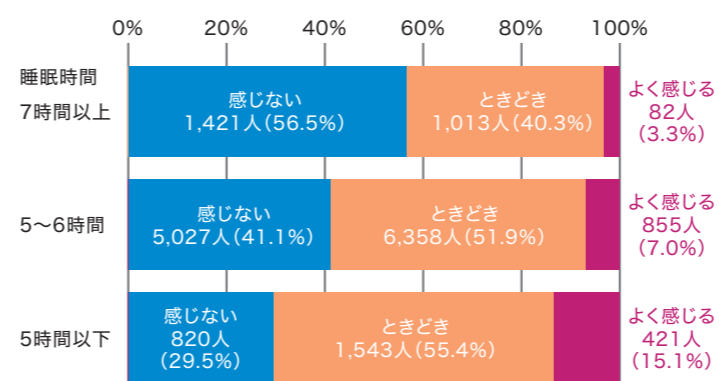
乗務させる場合は「**対策(例えば「〇〇で休憩します。」等具体的なプランの方が守られやすいといわれています)**を自分で決めてもらい、その行動を「**承認(いいねそれ!是非やってみて!)**」し、中間と終業時に確認と支援、そして(その行動の貢献度を)「**褒める**」ことをおすすめします。  
 (決めたプランの実行度の向上を促します。)

監修:岡本 秀郎(独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)専任講師・交通心理士)



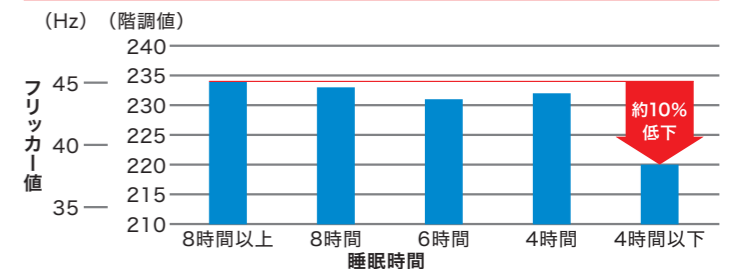
## 始業時の疲労感と睡眠時間

平均何時間寝ますか？×始業時に疲れていると感じることがある？

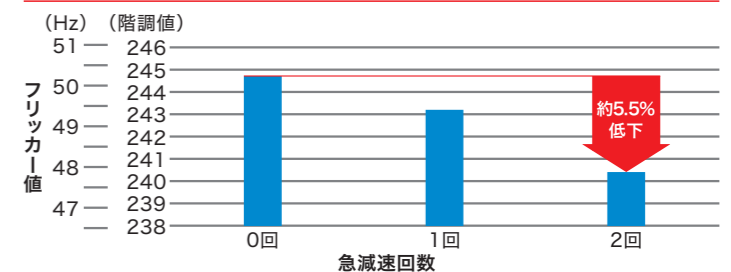


※「運行管理者一般講習テキスト」(NASVA)より

## 始業時のフリッカー値と睡眠時間との関係



## 1日の急減速回数と始業時フリッカー値



※フリッカー値の計測記録が7分以上ない場合を除きます。